

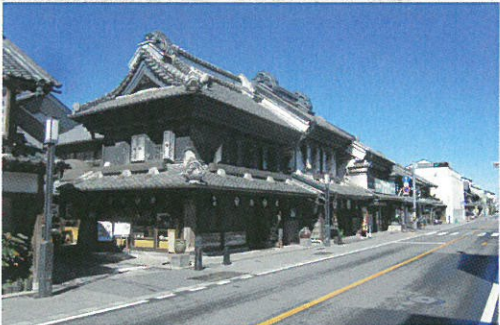
## 変わりゆく町並み



明治時代後半 川越市立博物館蔵



昭和63年頃(1988)



現在



基調講演者・コーディネーター

### 福川 裕一氏

(千葉大学名誉教授・川越市伝統的建造物群保存地区保存審議会会長)

専門は都市計画・都市デザイン、特に歴史的な町並みの保全や中心市街地の再生。川越・佐原・長浜・高松などのまちづくりに関わる。特に川越では、40年以上にわたりまちづくりの現場に関わる。昭和62年(1987)川越一番街商店街が町並み委員会を発足した際、福川氏が監修した「町づくり規範」に基づき、建築や看板を整え商店街全体の歴史的な魅力を向上させた。著書に、『<まちなか>から始まる地方創生(クリエイティブタウンの実践と論理)』(岩波書店、2018年)など多数。

## 会場 川越市やまぶき会館への行き方

川越市やまぶき会館  
川越市郭町1-18-1 TEL 049-222-4678

交通機関：JR川越線・東武東上線 川越駅東口 バス乗り場  
1・2・4・5・6番乗り場「一番街」下車徒歩約5分  
7番乗り場「大手町」下車徒歩約3分  
3番乗り場(小江戸めぐりバス)「やまぶき会館前」下車徒歩0分  
\*駐車場はありませんので、交通機関をご利用ください。

## 開催趣旨

平成11年(1999)12月1日、川越の蔵造りの町並みに代表される建築物などを中心とする川越市川越伝統的建造物群保存地区(伝建地区)は、国の重要伝統的建造物群保存地区(重伝建地区)に選定され、本年で20周年を迎えます。

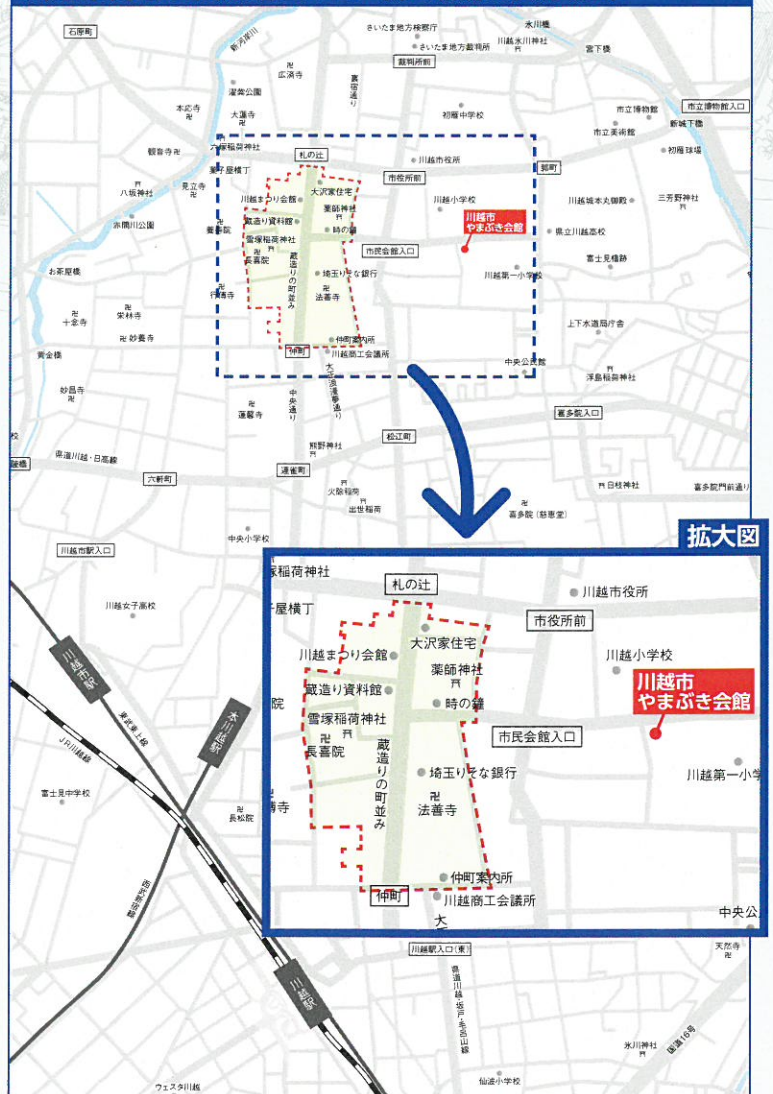
川越市における町並み保存の取り組みは、昭和40年代の蔵造りの保存活動にはじまり、昭和62年(1987)の町並み委員会発足など住民主体のまちづくりを経て、平成11年の重伝建地区の選定に至りました。

今回のシンポジウムでは、これまでの住民主体によるまちづくりの取り組みを振り返るとともに、川越と同じような性格をもつ地域の住民の代表を交え、歴史や文化を活かしたまちづくりの将来を考えます。

## タイムテーブル

13:00	開場
13:10	川越市立初雁中学校吹奏楽部による演奏
13:40	開会
13:50	基調講演① 「川越伝建地区の過去・現在・未来」 講師：福川裕一氏(千葉大学名誉教授)
14:30	基調講演② 「伝建制度と都市遺産の保存活用」 講師：清永洋平氏(文化庁)
15:10	パネルディスカッション「住民主体のまちづくり」 コーディネーター 福川裕一氏(千葉大学名誉教授) パネリスト ①清永洋平氏(文化庁) ②中村泰典氏(倉敷伝建地区をまもり育てる会事務局) ③長谷川明氏(京都明倫学区まちづくり委員会委員長) ④原 知之氏(川越町並み委員会委員長)
16:30	閉会

## 川越市街地と伝建地区MAP(赤の点線が伝建地区)



拡大図